



2017 年 3 月 28 日

新型 Audi TT RS Coupé / TT RS Roadster を発売

- ・ 新開発の 2.5ℓ 直列 5 気筒エンジンは最高出力 400 馬力を発揮、TT シリーズ史上最速モデルに
- ・ アウディの量産モデルとしては初めてテールライトに OLED をオプション採用

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）はプレミアムコンパクトスポーツカー Audi TT シリーズのトップモデル Audi TT RS Coupé / TT RS Roadster を 2011 年以来 6 年ぶりにフルモデルチェンジ。本日より受注開始、5 月中旬より全国 25 の Audi Sport 店及びアウディ正規ディーラー（124 店舗：現時点）を通じて発売いたします。

Audi TT RS Coupé / TT RS Roadster は、Audi R8 や Audi RS 6 など、アウディのハイエンドスポーツモデルを手がける Audi Sport GmbH が開発した Audi TT シリーズのトップモデルです。

新開発のオールアルミ製の直列 5 気筒 TFSI ガソリン直噴ターボエンジンは、従来型に比べて 26kg の軽量化を実現。新たなターボチャージャーを備え、先代モデルに比べて最高出力は 60 馬力向上し 400 馬力を発揮、最大トルクは 30Nm 高められ 480Nm を発生します。このエンジンに 7 速 S トロニックトランスミッションと quattro フルタイム 4WD システムを組み合わせることにより、いかなる路面状況においても大パワーを余すことなく確実に路面へ伝達し、優れた高速安定性と操縦安定性を実現しています。0-100km/h 加速タイムはわずか 3.7 秒（Roadster は 3.9 秒）になり歴代 TT で最速となります。また環境性能も高められており、燃費は 11.7km/l（JC08 モード）を達成しています。

エクステリアでは、ハニカムメッシュのシングルフレームや専用のフロントバンパー、固定式リヤスポイラーなどを装備。アウディの量産モデルとしては初めて、テールライトに OLED（有機発光ダイオード）をオプション設定しました。またインテリアにはインストルメントパネルに設置された 12.3 インチの TFT ディスプレイに、スピードメーターやタコメーターだけでなく、ナビゲーションシステムをはじめとする様々な情報を表示できるアウディ バーチャル コックピットを標準装備しています。

新型 Audi TT RS の quattro フルタイム 4WD システムは、コンパクトかつ軽量の電子油圧制御式の多板クラッチをプロペラシャフトの後部に配置することで、前後重量配分を最適化しました。これを TT RS としては初めてアウディドライブセレクト（comfort、auto、dynamic、individual の 4 つの走行モードが選択可能）と協調制御することで、先代モデルよりも緻密な制御を行います。コーナリング時には狙い通りのラインをトレースするようトルク配分を調整し、ドリフト状態になった場合でも ESC（エレクトロニックスタビライゼーションコントロール）が内輪のブレーキを調整します。ボタン操作により、ESC 働きを完全にキャンセルすることも可能です。シャシーには 4 リンク式リヤサスペンションを採用し、ダイナミックで正確なハンドリングを実現しました。舵角が大きくなるほどレシオが速くなるプログレッシブステアリングには、RS 専用のスポーティなチューニングが施されています。また電子制御可変ダンパーであるアウディマグネティックライドを標準装備、アウディドライブセレクトを介して減衰特性を変化させることができます。新型 Audi TT RS は、Coupé/Roadster のいずれも 5 アームポリゴンデザイン の 19 インチホイールと 245/35 タイヤを標準装備しています。

モデル	エンジン	トランスミッション	駆動方式	ステアリング	車両本体予定価格（税込）
Audi TT RS Coupé	2.5ℓ 直列 5 気筒 DOHC ターボチャージャー 400PS/480Nm	7 速 S トロニック	quattro	左/右	9,620,000
Audi TT RS Roadster					9,780,000